

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

涌谷町長 遠藤 釈雄

|                   |                                                                                                            |
|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市町村名<br>(市町村コード)  | 涌谷町<br>(4501)                                                                                              |
| 地域名<br>(地域内農業集落名) | 篁岳地区<br>(長根上・長根下・松崎・小里1・小里2・八幡・脇・岸ヶ森・生栄巻・沢田・大天馬・堂ヶ崎・谷地太田・成沢・篁岳・新田・馬追・吉住・丸山・猪岡・洞・笠石・短台上・短台下・大谷地上・大谷地中・大谷地下) |
| 協議の結果を取りまとめた年月日   | 令和7年1月21日<br>(第1回)                                                                                         |

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

耕地面積は、涌谷町の全耕作面積のなかで最も広く52.68%である1,738.44haを占めている。  
農地は概ね農業振興地域に設定され担い手への集積・集約化が順調に進められているが、山間部に隣接した農地については難しい状況である。  
平成29年度から鹿飼沼地区の県営圃場整備事業による水田の大区画化を進めている。  
近年、経営規模の拡大を志向する意欲的な農業者から新たな法人が立ち上がり、地域の担い手として順調な農業経営が行われている。  
一部地域で有害鳥獣の被害があり、対策を講じていく必要がある。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

本町の農業の中核をなす地区であり、これまで水稻を基幹作物に、複合経営としては畜産が盛んであったが、生産調整の推進に伴い麦、大豆等の土地利用型作物や露地野菜の導入が見られる。今後も生産基盤の高度化による転作後の水稻乾田直播栽培等の低コスト化や生産組織を中心とした農地の利用集積、農作業の受委託促進によって効率的な農業経営を図る。また、園芸作物の生産拡大についても積極的に推進し、水稻、畜産、園芸作物の振興による均衡のとれた高生産性型農業経営の形成に努める。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

|                                  |          |
|----------------------------------|----------|
| 区域内の農用地等面積                       | 1,738 ha |
| うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積      | 1,536 ha |
| (うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】 | ha       |

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

山間部に隣接した耕作に向いていない農地等については、保全農地や地域利用とするなど、区域設定の見直しにより荒廃農地を未然に防ぎ、農地中間管理機構の活用による法人を中心とした担い手への効率的な農地利用を進める。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

### 3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

|                                                                                                                                         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)農用地の集積、集約化の方針                                                                                                                        |
| 現在、事業が進められている鹿飼沼地区圃場整備地域等については、農地中間管理機構を活用し法人を中心とした担い手への集積・集約化を進める。<br>目標地図に位置付けられていない経営体による耕作を妨げない。                                    |
| (2)農地中間管理機構の活用方針                                                                                                                        |
| 農業委員及び農地利用最適化推進委員等により、担い手の経営意向及び所有者の貸付意向等、地域の状況を把握し、地域の実情に応じて農地中間管理機構との情報共有及び連携を図る。                                                     |
| (3)基盤整備事業への取組方針                                                                                                                         |
| 平成29年度から鹿飼沼地区の県営圃場整備事業による水田の大区画化に取り組んでいる。                                                                                               |
| (4)多様な経営体の確保・育成の取組方針                                                                                                                    |
| 地域内外にかかわらず、農業経営を営もうとする経営体の受入体制を整え、地域に定着し活躍できるよう必要な受入体制及び情報の提供等の支援について、町及びJA等の関係機関と連携し取り組む。                                              |
| (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針                                                                                                     |
| 涌谷町飼料増産組合は稲ホールクroppサイレージ・青刈りトウモロコシの収穫を受託し、コロナ以降の飼料高騰に対応するべく自給飼料の増産を進める。<br>涌谷町農作物防除協議会を活用し、いもち・カメムシ防除や麦・大豆一斉防除により、農業者の労力低減や作物の品質向上を進める。 |

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

|                                    |                                      |                                             |                                          |                               |
|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------|------------------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策 | <input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料 | <input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業 | <input type="checkbox"/> ④輸出             | <input type="checkbox"/> ⑤果樹等 |
| <input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等 | <input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等     | <input type="checkbox"/> ⑧農業用施設             | <input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他 |                               |

【選択した上記の取組方針】

②猪岡短台地区において、水稻の有機・減農薬栽培が定着していることからみどりの食料システム戦略に係る事業を導入し、面積の拡大を図る。  
⑨ストックヤードを活用し、畜産農家から出た堆肥は地域内生産者に供給する循環の仕組みを推進する。